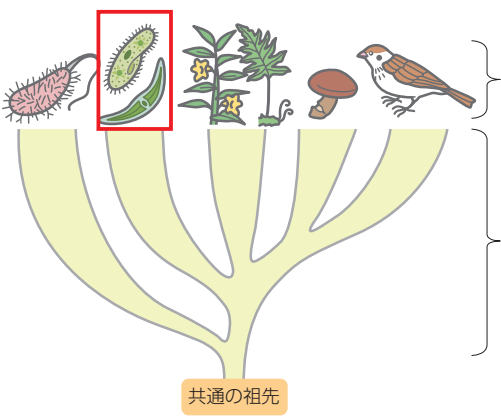
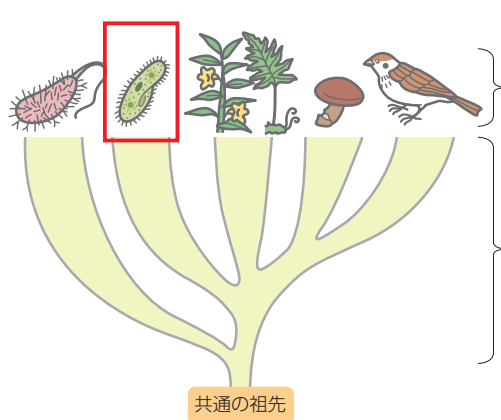
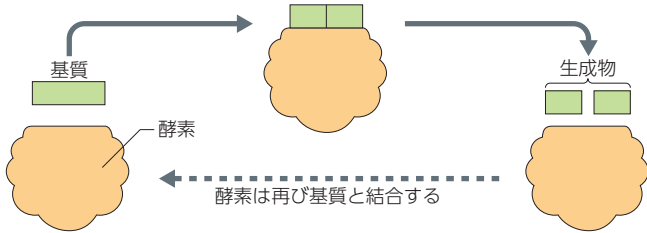
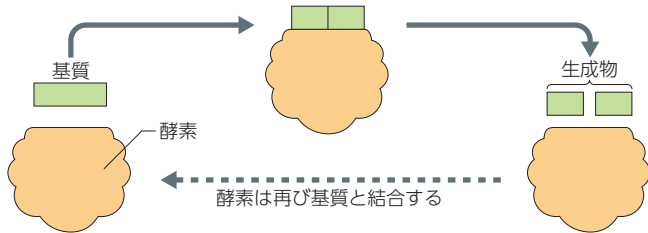
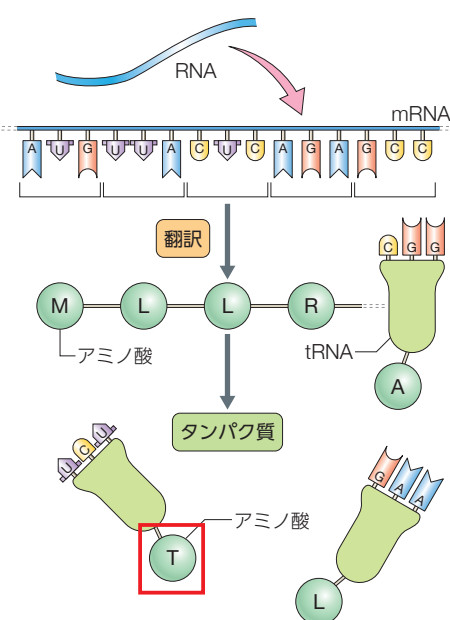
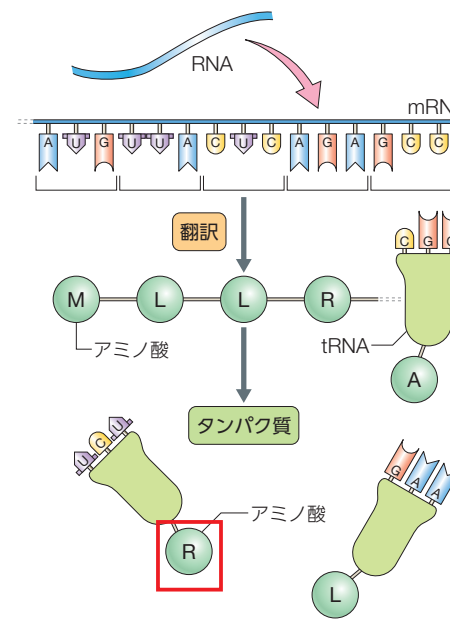


番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
1	30	1節	 <p>共通の祖先</p>	 <p>共通の祖先</p>
2	38	図7	 <p>▲図7 酵素の<u>解媒</u>作用</p>	 <p>▲図7 酵素の<u>触媒</u>作用</p>

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
3	80	図6	 <p>▲図6 翻訳の過程</p>	 <p>▲図6 翻訳の過程</p>

番号	訂正箇所	
	ページ	行

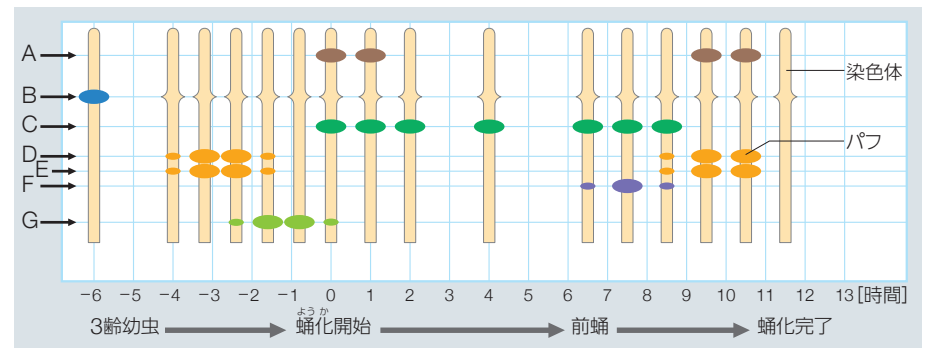
4	86	10
---	----	----

原 文

発展

生物

上のような観察から、ユスリカのだ腺のパフの位置と大きさは、発生過程の進行とともにさまざまに変化することがわかっている。図gは、幼虫が蛹になるまでのパフの位置と大きさの変化を図に表したものである。この図から、どのようなことが読み取れるだろうか。



▲図g 発生過程で変化するパフの大きさと位置 A～Gはそれぞれ遺伝子がある位置を示す。

発展
生物

上のような観察から、ユスリカのだ腺のパフの位置と大きさは、発生過程の進行とともにさまざまに変化することがわかっている。図gは、ハエの幼虫が蛹になるまでのパフの位置と大きさの変化を図に表したものである。この図から、どのようなことが読み取れるだろうか。

▲図g 発生過程で変化するパフの大きさと位置 A～Gはそれぞれ遺伝子がある位置を示す。

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
5	164	13	<p>●陸上のバイオーム <u>陸上のバイオーム</u>はその環境における極相の植生であり、その相観から、森林、草原、及び植物がまばらに生える荒原に大別される。</p> <p>森林、草原、荒原のバイオームは、さらに相観に基づいていくつかの型に分けられる。森林のバイオームは、熱帯・亜熱帯多雨林、雨緑樹林、照葉樹林、夏緑樹林、硬葉樹林、針葉樹林などに分けられる。草原のバイオームはステップ、サバンナに、荒原のバイオームは砂漠とツンドラにそれぞれ分けられる。</p>	<p>●陸上のバイオーム <u>陸上のバイオームの植生</u>はその環境における極相の植生であり、その相観から、森林、草原、及び植物がまばらに生える荒原に大別される。</p> <p>森林、草原、荒原のバイオームは、さらに相観に基づいていくつかの型に分けられる。森林のバイオームは、熱帯・亜熱帯多雨林、雨緑樹林、照葉樹林、夏緑樹林、硬葉樹林、針葉樹林などに分けられる。草原のバイオームはステップ、サバンナに、荒原のバイオームは砂漠とツンドラにそれぞれ分けられる。</p>

番号	訂正箇所		原 文
	ページ	行	
6	182	2	<div data-bbox="682 336 1675 1035"><p>Let's start!</p><p>写真の動物は、<u>日本に生息する二ホンリス</u>である。このリスは、一生の中でほかの生物とどのようなかかわりをもつだろうか。ほかの生物とのかかわりをできるだけたくさんあげてみよう。</p></div>

番号	訂正箇所		訂 正 文
	ページ	行	
			<div data-bbox="701 345 1707 1068"><p>Let's start!</p><p>写真の動物は、北海道に生息するエゾリスである。このリスは、一生の中でほかの生物とどのようなかかわりをもつだろうか。ほかの生物とのかかわりをできるだけたくさんあげてみよう。</p></div>